

JGAP認証のその先


富山県立中央農業高等学校

やる気満々！



やるぞおおおおお！

やりまあああああす！

A young woman with dark hair and bangs, wearing a white work jacket, is smiling and looking slightly to her right. She is in a cluttered kitchen or utility room. In the background, there are shelves with various items, a sink area with a faucet, and a green wall. A large, white, cloud-shaped thought bubble with a red outline is overlaid on the right side of the image, containing the Japanese text "GAPってなに?".

**GAPって
なに？**

使用中

GAPチーム発足



意味不明・・・。

助けて

助けて

助けて

助けて



意味不明・・・。

外部委託

不浸透材

種苗法

AW

消防法

見える化

知的財産

労働条件

危害要因

労務管理

県条例

管理基準

夜遅くまで書類整備



実は簡単な事だった！



実は無意識に取り組んでいる



達成感や充実感



牛個体管理カード

作業の意味を考えるように



「農業と環境」での取り扱い

文部科学省検定済教科書
[7実教]農業701
高等学校農業科用



実教出版

◆ **GAP の実施** 農産物や食品の安全を確保し、よりよい農業経営を実現するための取り組みを農業生産工程管理(GAP)という。農業生産そのものや農産物の取り扱いにおける安全管理手法や労働安全管理手法、環境保全型農業の実践のための手法などの具体的な取り組み事項が定められており、持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化が進むことをめざしている。しかし、GAPの認証を個々の生産者が取得するには、費用や手間が大きいという問題がある。

◆ **SDGs の実行** SDGsは、持続可能な世界を実現するために17のゴールと169のターゲットを設定し、地球上の誰もが安全に人間らしく暮らせる世界を建設することをめざした国際目標である。貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動にいたるまで、21世紀の世界がかかえる課題を包括的にとり上げている。

教科書83ページ抜粋

JGAPとSDGsのかかわり

JGAP →

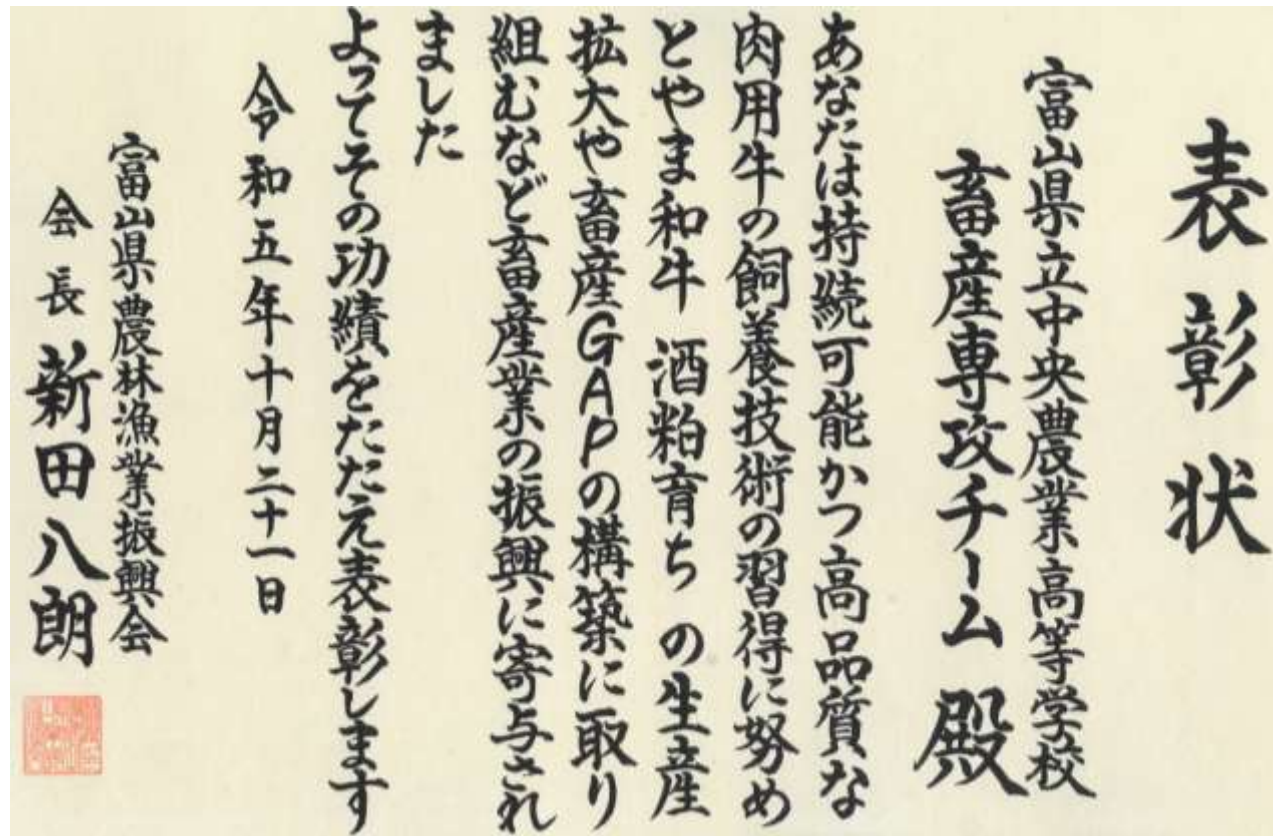
	<ul style="list-style-type: none">・農場管理手順の見える化・責任体制の見える化・機械・設備・車両などの点検・整備のルール化	
	<ul style="list-style-type: none">・生産工程の管理・食品安全におけるリスク評価とその対策・検証・食品防衛や食品偽装の防止・土・水・肥料・農薬・動物用医薬品など資源の管理	
	<ul style="list-style-type: none">・地球温暖化への対策・生物多様性や周辺環境への配慮・廃棄物の管理や資源の有効利用・地域社会との共生	
	<ul style="list-style-type: none">・作業者の労働安全対策・労働事故の防止・労働災害に対する備え	
	<ul style="list-style-type: none">・労働基準法などの法令遵守・使用者と作業者とのコミュニケーション・差別・強制労働などの禁止・作業者の健康状態の管理・手洗い・トイレ設備の衛生管理	
	<ul style="list-style-type: none">・管理獣医師等の健康管理指導・家畜伝染病予防法(飼養衛生管理基準)の遵守	
	<ul style="list-style-type: none">・家畜の快適性に配慮した飼養環境の改善・アニマルウェルフェアに配慮した家畜の輸送	

← SDGs

牛舎通いの毎日



県知事より表彰状！



JGAP現地審査



JGAP認証農場に！



登録番号L1600000001

全コースで取得目指す

JGAP



JGAPの手順書

番号	レベル	管理点	適合基準	適合性	コメント
7.3	必須	リスク評価の実施	<p>管理点7.2で文書化した各工程について、以下に取り組んでいる。</p> <p>(1) 食品安全および家畜衛生に関するリスクを抽出して重要性を評価し、リスクを予防・低減するための対策の文書化</p> <p>(2) 現場の状況が反映されていることを確実にするために、責任者と作業者による共同での実施</p>		
7.3.1	必須	畜産特有のリスク	<p>以下の場合、管理点7.3のリスク評価には以下を必ず評価の対象とする。</p> <p><食品安全リスク></p> <p>(1) 畜産物への病原微生物の汚染</p> <p>(2) 抗菌性物質・農薬など化学物質の残留</p> <p>(3) 飼料・糞尿の残留、異物混入</p> <p><家畜衛生リスク></p> <p>(1) 病原微生物の侵入・感染</p> <p>(2) 殺虫剤・殺鼠剤・消毒薬・農薬など化学物質の誤食</p> <p>(3) 飼料・牧草地含むへの有毒植物の混入</p> <p>(4) 不適切な設備等による負傷</p>		
7.3.2	必須	放射性物質への対応	<p>放射性物質により汚染された生産物を出荷しないために、以下に取り組んでいる。</p> <p>(1) 認証の対象品目に対して、農場がある地域に関する法令・行政機関からの指示の有無の確認</p> <p>(2) 指示がある場合は、指示に基づく対応</p>		
7.4	必須	対策・ルールの周知・実施・確認	<p>a. 管理点7.3で文書化したリスクを予防・低減するための対策について、責任者による作業員への対策の教育訓練を行い、対策を実施している(新人の配置および対策・ルール変更時には必ず実施すること)。</p> <p>b. 管理点7.3で重要性が高いと評価したリスクについて、対策を強化するために以下に取り組んでいる。</p> <p>(1) 作業員が理解できる具体的なルールの文書化(図、映像を含む)</p> <p>(2) 責任者による作業員へのルールの教育訓練および実施(新人の配置および対策・ルール変更時には必ず実施すること)</p> <p>(3) 責任者による遵守状況の定期的な確認とその記録</p>		

まゐるで呪文

JGAPをCGAP化

家畜排せつ物を適切に管理し、周辺環境への排せつ物による汚染を防ぐために、以下に取り組んでいる。

- (1) 堆肥や固形状の家畜排せつ物は、雨風で土中や施設外に流出しないように、床を不浸透性材料※1にし、適切な覆い※2や側壁を設置して保管・管理すること
- (2) 液状の家畜排せつ物は、不浸透性材料※1で作られた貯留槽で保管・管理すること
- (3) 定期的にか畜排せつ物の管理施設を点検し、施設や設備が破損しているときは早急に修理すること
- (4) 年間に発生する家畜排せつ物の量を把握し、記録すること

※1 不浸透性材料:コンクリートや防水シート等汚水が浸透しないもの

※2 適切な覆い:屋根の設置や防水シートなどで覆うこと



CGAP化!

家畜排せつ物をコンクリート製の堆肥舎に保管している



CGAPの作成

CGAP

(中央農業高校版農業生産工程管理)



2023年11月1日 発行

肉用牛研修会での公演

CGAPの作成

CGAP
(中央農業GAP)



農家の反応



全部適合だった！



2つダメだった……

家畜衛生情報掲載

MAKE
TOYAMA
STYLE

家畜衛生情報

655号

東部地域畜産経営技術推進指導協議会

西部地域畜産経営技術推進指導協議会

富山県東部家畜保健衛生所

富山県西部家畜保健衛生所

2023.12.10

- ☆県内すべての養鶏農場で緊急消毒を実施 … 1
- ☆今シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ発生を確認 野鳥でも全国で感染個体を確認 … 2
- ☆年末年始を迎え防疫対策の徹底を!! … 2
- ☆韓国においてランピースキン病が感染拡大 … 3
- ☆冬季における消毒のポイント … 3
- ☆中央農業高校が畜産農場で北陸初のJGAP認証を取得!! … 4
- ☆GAP認証のその先
～中央農業高校 畜産専攻 GAP チームの取組～ … 4

- ☆令和5年度病性鑑定特殊講習会(病理部門)を受講して … 5
- ☆令和5年度 富山県畜産共進会(肉牛の部〈枝肉〉)が開催されました … 5
- ☆防疫情報 … 6
- ☆第74回日本学校農業クラブ全国大会家畜審査競技会(肉用牛の部)で中央農業高校生が優秀賞に入賞 … 6
- ☆お知らせ … 6
- ☆年末年始の死亡牛検査受付対応について … 6

GAP認証のその先 ～中央農業高校 畜産専攻 GAP チームの取組～

富山県立中央農業高校生物生産科動物科学コース畜産専攻ではGAPチームを発足し、JGAP(畜産)の認証に向けた取り組みを行っています。私たちがGAPという言葉を知ったのは2学期のはじめ、畜産担当の先生から「一緒にJGAP認証に向けて取り組んでみないか」と声をかけていただいた時でした。「GAPって何?」と思ったのが正直な気持ちでした。GAPについての知識が0の状態からスタートし、何が分からないのか分からない状態だったため、そもそもGAPとは何なのかを理解する必要がありました。

しかし、初めて先生からJGAP認証について講義を受けた際にも何を言っているのか全く意味が分からず、自分たちはこれからやってくれるのかと不安な気持ちになりました。それに加えて書類の膨大な情報量と専門用語の数々に圧倒され、知らない単語に難しい法律の名前、わからないことばかりで何度も挫折しそうになりました。それでも、寮で先生を含めた5人で睡眠と闘いながら夜遅くまで作業していたこともあり、自己点検をしていく中で何が取り組めていないのか、どれが当てはまっているのかなど、少しずつですがGAPのシステムが理解できるようになり、実は今まで私たちが日々の一般管理で行っていることを少し細かく確認しているだけなのだと気づくことができました。

最近になって取組を通して感じていることは、不安よりも達成感や充実感を感じるこのほうが多いということです。作成した書類の束を一冊のファイルに綴ったときは言いようのない達成感を感じ、自分が取り組んできたことを誇りに感じました。また、GAPの取り組みを始めたことにより、今までの牛舎での行動を見直すことができた、新しいことを知ることができたりと、とても勉強になりました。そして何よりも、GAPを通して仲間とのきずなが深まったように感じます。GAPに取り組むようになってからというもの、朝も放課後も毎日牛舎へ通い、帰寮時間ギリギリまで話し合いをしたり作業をしたりしていました。JGAPの資料が一つずつ終わっていく喜び、仲間と協力して1つのことに取り組む充実感、これらはGAPに取り組んでいなかったら感じることができなかったものです。

迎えた10月30日の現地審査の日、今まで経験したことのない緊張の時間が続きました。最終会議で審査員の先生方から指摘された是正項目は必須項目、重要項目併せて5つ、翌日からすぐに是正処置に取りかかり、晴れて11月28日付で北陸初のJGAP(畜産)認証農場となりました。しかし、認証取得はゴールではなくスタートにすぎません。認証を継続し、後輩にこの取り組みを引き継いでもらうためには、誰が見てもわかりやすい様式に作り直し続ける必要があります。また、私たちの取り組みを皮切りに、学校のすべてのコースで各種のGAP・HACCP・ISOなどが取得できるように取り組んでいきたいです。10月30日に行われたJGAPの初回認証審査を終えた私たちは、GAPへの知識が深まり、かみ砕けばもっと簡単にできるのではないかと感じるようになりました。

そこで今後は、GAPの内容を簡略化した中央農業高校版のGAP、略して『CGAP』の作成を急ぎ、県内の畜産農家へCGAPを通じたGAP認証の推進、小中学生を対象とした農業やGAPについての出前授業などのアンバサダー活動を行うことで、広く県民全体にGAPという言葉が浸透させていくことを目標としました。将来的には、これを機に県民の農業への興味、関心が向上し、近年減少気味の農業従事者を増やしていけるような取り組みを考え実行していきたいと考えています。



JGAP 認証初回審査の様子 (10/30)



畜産専攻 GAP チーム

(中央農業高校 畜産専攻 GAP チーム)

マスコミの活用



北陸初 中央農業高校 JGAP認証
牛舎の効率的な管理基準を満たす

JGAP農場

食品の安全や環境保全などに関する基準を満たし
効率的な管理がなされたと認められた農場



中央農業高校の牛舎
「JGAP」取得

プロジェクトチームのリーダー
畜産専攻2年生
田中 侑美さん

寮で遅くまで
作業したこともあったので



中央農高 JGAP 北陸の畜産施設初認証

中央農業高校の内用牛舎が、農産物の生産工程の安全性を認証する「JGAP（畜産）」を取得した。同校によると、北陸の畜産施設で認証されるのは初めて。安全な牛舎などアピールできる点も、作業を細かくマニュアル化したことで次の世代に効率よく引き継ぐことができる点も、生徒たちは「とてもうれしい」と喜んでいる。

JGAPは、農場や畜産施設、ラリンピックでの食料調達施設の安全性や品質を証明する「準にも採用された。」「日本GAP協会」（東京）から認証に向けて活動をスタート

中央農業高校では8月下旬

130の基準満たす

生徒は7日、JGAPの基準に則して、トレーサビリティ（生産流通履歴を確保するために、生まれたばかりの子牛に耳標を付けた）や、個体の情報を専用の用紙に記録したりした。

チームリーダーを務めた田中侑美さんは「認証を受けるために夜遅くまで作業したので、とてもうれしい。JGAPについて広く知ってもらうため普及活動にも取り組んでいきたい」と笑顔を見せた。

1トさせた。生物生産科動物科学コース畜産専攻の2年生4人がチームを結成し、JGAP指導員の資格を持つ川口純平教師の指導を受けた。取得には牛舎の衛生管理や生産工程の明確化についてなど130の基準を満たす必要があり、書類を作成したり記録をまとめた。10月末に審査団体による現地調査を経て、11月28日に認証を受けた。

（川崎那月）

（NHK中央）

安全な牛舎 お墨付き

今後の活動予定

令和6年

2月2日 富山県畜産業績発表会での発表

2月14日 富山県畜産女性研修会での発表

5月下旬 本校春の農業祭でのプロジェクト発表

7月下旬 本校オープンハイスクールでの体験発表

随時 富山市内の中学校へ出前授業

HACCPの義務化

「HACCP」義務化で需要開拓

三協厨機 操作性を中小にPR

厨房(ちゅうぼう)設備の販売を手掛ける三協厨機(本社大田市今治3の25の2、三井物産社長、電話0584・73・0414)は、食品の厳格な衛生管理を実現するアプリ「キッチン」を開発した。食品の安全・衛生管理に関する国際認証のHACCPに対応した管理を実現できるのが特徴。法改正によるHACCP対応の義務化を踏まえ、アプリの活用を促す。中部地方の中小の飲食事業者を中心に売り込む。



取締役 (大塚・菊池隆徳)

同社は1983年設立。厨房設備の仕入れや販売、設置を主力としている。食洗機、洗浄機用洗剤の販売事業も手掛ける。業界向けに食品衛生講習会などを実施しており、衛生指導の面で定評がある。食品衛生管理のアプリは、システム開発のアイズ(本社名取市)と共同開発した。スマートフォンやタブレット端末で簡単に操作できるほか、ワンボタンでリアルタイムに確認記録を作成できる。データの一元管理が可能、食中毒などのトラブルが発生しても証拠データを取り出せる。2018年6月に「食品衛生法の一部を改正する法律」が公布。改正する食品関連事業者に対して、2020年までにHACCPに合わせた衛生管理を実施することが義務付けられた。HACCPは原料の入

国際基準 衛生管理急ぐ

ハサップ

青森(金沢市)は、青森市いなほ工業団地で衛生管理設備を整えた工場を稼働させた。飲食HACCPの認証を目指しており、株式会社は、「ハード面を整った。社員研修や取引先への講習会で周知を進める」と話す。

石川、富山の食品メーカー

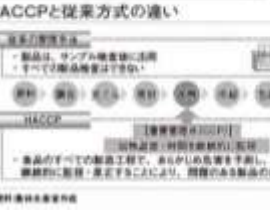
梅がまの富田市は、ハサップに対応するミニマルを作成した。施設に導入し、作業員は製造工程で清掃の時間や方法、設備の衛生状況をすべての手帳で記録している。主力製品の比重に照らしては製造工程の設備を整え、衛生管理の強化を図る。HACCPの義務化に対応する。

設備改修や指針策定

青森(金沢市)は、青森市いなほ工業団地で衛生管理設備を整えた工場を稼働させた。飲食HACCPの認証を目指しており、株式会社は、「ハード面を整った。社員研修や取引先への講習会で周知を進める」と話す。

HACCP義務化スタート

農水省に政策ポイントをきく(前編)



食品製造の安全性確保の義務化が8月1日よりスタート。注目にもあつたもので、される。その政策的な背景として、農林水産省・食品製造業、食品衛生の「見える化」への期待が大きい。HACCPの義務化の背景は、食中毒の発生頻度の増加、食中毒の被害の拡大、消費者の意識の高まり、国際基準の厳格化などがある。HACCPは、食品の製造工程で、あらかじめ危険を予測し、危険防止につながるポイントで継続的に監視・検定することにより、問題のある製品の流出を未然に防止する管理手法。

JGAP認証が購買条件に



真のゴールとは





ご清聴ありがとうございました